



問合先 大学コンソーシアムつる  
事務局 市役所 企画課内

**つる産業まつりに大学コンソーシアムつるがブースを出展しました！**

10月30日(日)に行われたつる産業まつりに、市内の3大学が参加しました。都留文科大学は『アクセサリ販売・展示ブース』、健康科学大学看護学部は『健康体験ブース』、産業技術短期大学校は『モーターカーをつくろう！ブース』、『メダルをつくろう！ブース』、健康子育て課は『朝食プロジェクト(栄養チェック)ブース』、事務局は『ハロウィン！コンつるくんぬりえブース』を出展しました。

肌寒い一日でしたが、多くの人で賑わい、参加した学生たちも充実した様子でした。



■健康科学大学看護学部のブースのようす。  
学生が市長の血圧を測定しています



■コンつるくんぬりえを楽しむ子ども達。  
なかには、1時間かけて仕上げた力作もあり！

**まだ間に合うよ！お名前大募集！！**



詳しくは下記のQRコードからアクセス！または、先月号の『大学コンソーシアムつるTOPICS』をご覧ください！！



10月号から登場した『コンつるくんの妹分』です。私の名前を募集しています。



大学のブースには100名以上の方が来てくれたよ～！うれしいな～！！

**産業技術短期大学校教職員が小学校で出張授業を実施しました**

10月6日、谷村第一小学校4年生67名を対象に『吹き矢の仕組み』を、10月25日には、東桂小学校で2年生59名を対象に『おもちゃづくり教室』を実施しました。また、10月24日、31日には、宝小学校で『フルカラーLEDランプの製作体験』を行い4～6年生が参加しました。児童からは、「ものづくりはとても楽しかった。また、違う物も作ってみたい。」などの感想をいただきました。

今後も『ものづくり』の仕組みやおもしろさを伝え、小中学生のキャリア教育に役立てていきたいと考えています。



**市民公開講座『日本文学から世界文学へー夏目漱石と多和田葉子の鉄道小説を読むー』を開催しました**



10月に全3回にわたり、都留文科大学において、市民公開講座『日本文学から世界文学へー夏目漱石と多和田葉子の鉄道小説を読むー』が開催されました。

今回の市民公開講座では、国文学科准教授の野口哲也先生を講師にお迎えし、今年没後100年を迎える夏目漱石と、今年度都留文科大学特任教授に就任した多和田葉子さんの『鉄道』を舞台とした2人の小説を比較することで、この100年間で日本人の意識がどのように〈移動〉したかを考えていきました。

**地域の公開講座を開催しました**

10月28日、健康科学大学都留キャンパスにおいて、禾生地域協働のまちづくり推進会の方を対象とした公開講座『笑ってますます元気になろう！』を開催しました。

福祉心理学科の瀧口綾准教授が『笑う』をテーマに、笑うことで健康になれるということや表情を明るくする方法についてなどを紹介しました。

